

3期目の市政運営を担わせていただいている間、「茂原には工業団地の造成、(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジ設置事業、内水対策関連事業など、「3か年実施計画」で、重点施策として掲げている事業を実施し、時代の変化や新たな行政課題に対応してきました。

特に「茂原には工業団地」については、昨年12月に完成し、2月に2回目の一般競争入札が実施され、全区画が落札されたところです。新たな企業の進出により、雇用の創出や市税の増収が期待されることから、企業の早期操業を支援し、さらには、市内企業との交流を促進することで、本市の工業振興を図りたいと考えています。

今後も、「第6次3か年実

実施計画」や「総合戦略」に位置付けた各種の取り組みを「大胆に・着実に」展開し、「すべての市民が住んで良かったと思えるまち茂原」の実現を目指します。

平成30年度当初予算編成

歳入については、個人市民税等の増はあるものの、償却資産に係る固定資産税の減により、市税全体では減収が見込まれます。その一方で、市税の減収に伴う地方交付税の増や、地方への清算基準の見直しに伴う、地方消費税交付金の増が見込まれます。

歳出については、義務的経費である障害福祉費や生活保護費などの扶助費の著しい増加や、(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジ設置事

業、茂原駅前通り地区土地区画整理事業、街路事業等の投資的経費に加えて、長生郡市広域市町村圏組合への負担金の増加も見込まれます。

このような中で、公共施設の老朽化対策、地方創生実現に向けた妊娠・出産・子育て支援の充実、市民会館の建設、学校再編への取り組みなど、将来を見据えた財政需要にも対応していくことが求められており、引き続き厳しい財政運営を強いられるものと考えています。

予算編成については、各事業の投資効果や緊急性を十分勘案し、「最少の経費で最大の効果を挙げる」という財政運営の基本理念に基づき、事業の「選択と集中」により、効率的な予算配分に努めたところと



特別会計

208億5,579万円(対前年度伸び率△10.7%)

会計	H30当初予算額	伸び率
国民健康保険事業費	100億 7,399万円	△ 23.8%
下水道事業費	18億 1,176万円	△ 7.8%
農業集落排水事業費	3億 9,966万円	4.9%
駐車場事業費	7,749万円	△ 29.5%
介護保険事業費	73億 2,129万円	10.5%
後期高齢者医療事業費	11億 7,160万円	9.9%
計	208億 5,579万円	△ 10.7%

お問い合わせは、

施政方針について 企画政策課 (4階)

☎(20)1516、FAX(20)1603、

予算の概要について 財政課 (4階)

☎(20)1517、FAX(20)1603へ。

〈一般会計予算の用語説明〉

歳入

一般財源	市税や地方交付税など、使い道が特定されない財源
特定財源	国・県支出金や市債など、使い道が特定されている財源

歳出

総務費	市役所の全般的な経費
民生費	社会福祉・児童福祉などの経費
衛生費	保健福祉・ごみ処理などの経費
農林水産業費	農業・畜産業・林業などの経費
商工費	商工業や観光の振興などの経費
土木費	道路・公園・橋・河川の整備などの経費
消防費	消防や救急活動などへの負担金
教育費	小中学校・幼稚園・図書館などの経費
公債費	借入金の返済金
その他歳出	議会等の経費、台風被害等による災害復旧事業